

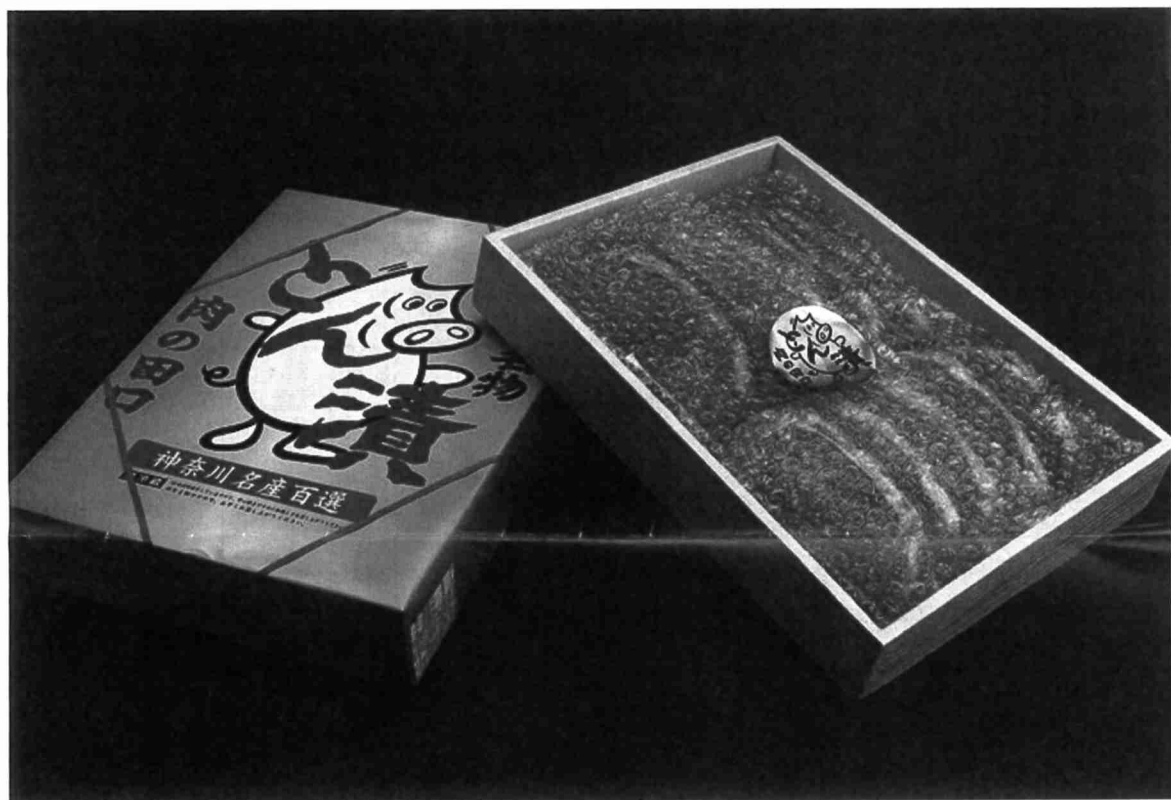
ぜん きょう じ
善巧寺報

5 月号

東京教区 埼玉組

月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



厚木市、相模原市、座間市の名物「とん漬け」文化庁100年フードにも選ばれている。

▼二〇二五年五月一日▲

東京教区の名品・特産品

～ 相模組 海の幸・山の幸 ～



令和七年 善巧寺門信徒 総永代経法要

月刊

緑萌え出ずる候、総永代経法要のご案内を申し上げます。
お浄土に往生された方々のご遺徳を偲びつつ、仏さまのお慈悲
が常に共にあることを味わわせて頂きましょう。

期 日

五月十八日(日)

程

十一時 法要『仏説阿弥陀経』(於本堂)

引き続き 法話「大いなる慈悲、注がれてある私」

十二時半 納骨堂永代経法要『重誓偈(律曲)』

(於 永代納骨報恩堂前)

午後一時 終了 法輪会館でお斎弁当・お供物をお配りいたし

ます(会館でお召し上がりいただけます)。

※準備の都合上、出欠のご連絡を、五月十一日(日)までに頂きたく
何卒よろしくお願い申し上げます。

みほとけ会

去る四月十二日は「北鎌倉お参り散歩」を開催。東慶寺さまでは、米国に禅思想・浄土真宗の信者の言行を伝えた鈴木大拙師のお墓にウグイスの声響く中、お参り出来ました。ちょうど大拙先生の祥月命日に当たり、ご子孫の方もお参りされていて有り難いご縁でした。鎌倉在住の山口依乗先生にはご案内ご解説大変お世話になりました。鳩サブレならぬ、きな粉香る鳩落雁のお土産も美味しく頂きました。



定例法座

毎月
十一日

◎五月十一日(日)

午後二時〜四時

於 法輪会館

『降誕会(ごうたんえ)』

五月二十一日は、親鸞聖人のお誕生日とされ、二十日・二十一日の二日間、にわたり京都西本願寺や築地本願寺では「宗祖降誕会」が勤修されます。「降誕」とは、仏さまの世界から私たち煩惱渦巻く世界に降りてこられ、私と同じく人として生まれ導いて下さった事を意味します。そのお徳は私たちにとってお釈迦さまの降誕に匹敵するので「降誕会」と言うのです。親鸞聖人の生年は、お亡くなりになられた年と年齢から逆算して、承安三(1173)年と判明しているのですが、月日については正確なところ判りません。というのは、古来より日本は生年月日をあまり重視しなかったからで

す。お正月が来るとみな等しく一つ歳をとる「数え年」の習慣からもわかるように、お誕生日については軽視されていたのです。親鸞聖人のご誕生がクローズアップされたのは江戸時代、本願寺第十八代文如上人が、親鸞聖人の父・日野有範を顕彰する目的で京都日野の地に日野別堂を建立したことに始まります。続いて第十九代本如上人(今年は二百回忌に当たり本願寺では四月十三・十四日に法要が営まれました)が本格的に由緒調査を行い、当時荒廃していた日野家の菩提寺である法界寺(真言宗醍醐派)復興に努めるなど、現在の京都市伏見区日野を親鸞聖人の生まれ故郷としてプッシュしたのでした。以降、法界寺に蔵する日野有範像を安置するため有範堂が建てられ、現在は日野誕生院として親鸞聖人のご誕生を顕彰する場所となりました。となるとやはりお誕生日に法要したくなるわけで、そこで『本願寺聖

人伝絵』の冒頭、親鸞聖人誕生の段に描かれている桜吹雪に着目して、これは春にお生まれになったに違いないとなり、旧暦四月一日、現代の暦では五月二十一日に降誕会を勤修することになったのでした。

※法話終了後、永代経準備のお掃除・仏具おみがきを行います。お手伝い頂ける方は作業しやすい服装でお願いします。

